

平成30(2018)年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業  
地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 江田島市

(都道府県：広島県)

1. 当該地域の情報 (2019年1月末現在)

地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の産業(造船業、造船解体業、水産加工業等)では、就労者の確保が困難なため、技能実習や特定活動等を活用し、外国人就労へのニーズが高い。</li> <li>・最近、家族で居住する者も多いので、保険、医療、教育等の日常生活での地域や行政との関わりも増加している。</li> <li>・技能実習生だけでなく、永住・定住等の滞在期間が長期化している者についても、地域社会や日本人市民との関わりは依然として少ない。</li> </ul>
在住外国人数 外国人比率	713/23,440 = 3.04 %
在留外国人の 状況	<p>【主な国籍】 ①ベトナム182 ②フィリピン169 ③中国156 ④インドネシア123 ⑤バングラディシュ17 ミャンマー17 ⑦韓国12 ⑧ブラジル9 ⑨米国8 ⑩朝鮮6</p> <p>【在留資格】 ①技能実習2号口271 ②技能実習1号口147 ③永住者93 ④特定活動66 ⑤定住者53 ⑥技術・人文知識・国際業務、特別永住者、日本人の配偶者等18 ⑨技能実習3号口 12 ⑩家族滞在8</p> <p>【滞在年数・在留期間などの状況】 ベトナム・中国・インドネシアなど技能実習生が多く、インドネシアは、特定活動も多い。</p>
在住外国人の 日本語教育の現状	<p>外国人を雇用している企業では、日本語教育や生活ガイダンスは行っているが、そこで働く外国人が地域住民とつながる場作りには至っていない。外国人市民が、安全で安心して生活するには、地域に即した日本語の理解が必要であり、更には、住民間の相互理解に向けた日本語学習や日本語を通じた交流機会の創出が必要である。</p> <p>行政では、多言語化による対応を主として考え、標示物やパンフレット等の多言語化に努めたが、日本語による外国人とのコミュニケーションづくりの意識は薄かった。</p> <p>江田島市には、日本語教育機関や、日本語教育コースを有する大学などはなく、日本語教室がない状況である。</p>

2. 事業の内容

本プログラム取組年数	3 年目			
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域のなかで安全に安心して生活ができ、自分の意思や要望を伝える手段と機会を確保する。</li> <li>2 地域住民が外国人市民に対して、相互理解を図り、活力を引き出し、協働による社会参加を促進する。</li> </ol>			
事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本語教室の開催により、外国人市民が日本人市民と一緒に集える場を作り、地域を知り、学ぶ機会を創ることができた。</li> <li>2 日本語教室の開催により、地域住民が、外国人市民について正しく理解し、共に協力できるまちづくりを目指す機会とすることができた。</li> <li>3 外国人の意見やニーズを汲み上げ、行政や地域の課題として考え、解決していくつながりをつくることができた。</li> <li>4 江田島市が外国人にとって楽しく生活できるようになり、江田島市の魅力を国内外に発信した。</li> </ol>			
事業の対象期間	2018年4月～2019年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	<p>年間を通じて、日本語クラブを継続して実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 当初、コーディネーターが、どのように教室を運営すればよいかの戸惑いもあったが、経験を重ねることで、自分なりの指導方法を見つけたことができた。また外国人市民の情報や接し方について、反省会やミーティングにより共有できた。</li> <li>2 継続して参加したものは、少なかったが、参加者が知人に日本語クラブについて伝える等で多くの外国市民に周知する事ができた。</li> <li>3 コーディネーターのアイデアにより、日本の文化や行事に関するイベントも、企画・実施でき、単に学習の場だけでなく、交流の場とすることができた。</li> </ol>			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	胡子 和子	えたじま国際友好ボランティア	チーフコーディネーター	総括管理
	堀尾 正子	えたじま国際友好ボランティア	コーディネーター	教室運営
	川崎 道男	えたじま国際友好ボランティア	コーディネーター	教室運営
	阿部 あずさ	えたじま国際友好ボランティア	コーディネーター	教室運営(4月～9月)
	中野 泰子	えたじま国際友好ボランティア	コーディネーター	教室運営(10月～3月)
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	伊東 祐郎	東京外国大学	大学院教授・副学長	継続(3年目)
	結城 恵	群馬大学	大学教育センター教授	継続(3年目)
	犬飼 康弘	(公財)ひろしま国際センター	日本語常勤講師	継続(3年目)

### 3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

#### (1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制	【平成28年度】		
	○ アドバイザーから、日本語教室の運営や人材確保について、専門的視点からの助言を受け、ボランティア間で日本語教室の理念を共有した。		
	○ 庁内会議である「江田島市外国人市民支援会議」で、協力を要請した。 ・外国人に対する施策、事業の取りまとめは、人権推進課で担当した。 ・多文化共生相談員の活用と各部署での外国人の課題の洗い出しを行った。		
	【平成29年度】		
	○ 日本語クラブ参加者から、悩み事や困りごとをコーディネーターが聞き取り、課題の解決を協議した。		
	○ 多文化共生相談員の活動範囲が拡大し、日本語教室の周知や外国人市民の声が届きやすくなった。 ○ 各部署からの多文化共生相談員の派遣や協力依頼を通じて、各部署から外国人に伝えたい情報の把握ができた。		
【平成30年度】			
○ 前年度の成果と反省を基にコーディネーター会議を中心に、年間計画と行事企画を行った。			
○ 広報誌や市のホームページだけでなく、SNSやフェイスブックなども活用し、積極的に情報の発信を行った。			
○ 次年度以降も日本語教室を継続できるよう国際交流協会の設立を旨として、関係企業や団体の理解を求めた。			
所属（担当課）	担当者名	職名	
人権推進課(庁内各部署の課題・情報の把握・とりまとめ)	蔵下 恵	主任	
人権推進課(外国人市民の相談窓口)	前田エルリнда・王 羽 翎	多文化共生相談員	
江田島市コーディネーター会議	胡 子 和 子	チーフコーディネーター	
江田島市外国人市民交流推進協議会	事務局...人権推進課		
江田島市国際交流協会(平成30年12月に設立)	事務局...人権推進課		

#### (2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制	【平成28年度から実施しているもの】		
	○ 外国人がよく利用する機関や商店などから、外国人市民の生活での困りごとの情報提供を呼び掛けた。 ○ 外国人を雇用する企業・事業主、技能実習生監理団体等に日本語教室をPR ○ 日本語ボランティア基礎講座受講者を開催し、ボランティアとして協力を得ている。 ○ コーディネーター会議で地域の様々な情報を収集したり、参加者の分析や情報の共有を図っている。		
	【今後日本語教室を継続するうえで、連携・協力が必要な組織・団体等】		
	○ 「国際交流協会」への加入依頼のため関係企業を訪問し、日本語教室のPRと要望を受け、教室運営に反映した。 ○ 「国際交流協会」の設立により、市民や市内の関係団体などから、今まで以上に協力が得られるようになった。		
組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
江田島市コーディネーター会議		チーフコーディネーター	胡 子 和 子
江田島市国際交流協会(平成30年12月に設立)	事務局...人権推進課		

#### 4. 具体的な取組内容

##### (1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2018年 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成29年度の活動状況のまとめと平成30年度の年間事業計画</li> <li>○ 犬飼アドバイザーを訪問(チーフ・コーディネーター) ...日本人支援者の養成について</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(年間計画の作成), アドバイザーとの連絡調整, 広報活動(ホームページ編集)	
2018年 5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しく参加した人への対応についての検討</li> <li>○ 危機管理課による防災講座への対応</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(日本語クラブの企画・運営), アドバイザー・コーディネーター会議, 広報活動, 日本語クラブ報告書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>★犬飼アドバイザー</li> <li>・今年度の活動について意見交換</li> <li>・日本語クラブ見学と事業終了後の助言・まとめ</li> </ul>
2018年 6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 犬飼アドバイザーを訪問(チーフ・コーディネーター) ...7月に開催する日本人支援者の養成講座の打ち合わせ</li> <li>○ 7月に日本語クラブ実施する七夕まつりの企画を検討</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(日本語クラブの企画・運営), アドバイザーとの連絡調整, 広報活動(情報発信), 日本語クラブ資料作成・報告書作成	
2018年 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本語クラブで七夕まつりの紹介</li> <li>○ スポーツ親善交流会での日本語クラブ出前講座⇒災害により中止</li> <li>○ アドバイザーとの協議・やさしい日本語教室の開催⇒災害により中止</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(日本語クラブの企画・運営), アドバイザー・コーディネーターとの連絡調整, 広報活動(情報発信), 日本語クラブ研修資料作成・報告書作成	
2018年 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 居住地近くで日本語クラブを開催してほしいとの要望への対応を検討⇒2カ所での開催を試行</li> <li>○ コーディネーター・フォローアップ研修(チーフ・コーディネーター)</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(日本語クラブの企画・運営), アドバイザー・コーディネーター会議, 広報活動(情報発信), 日本語クラブ教材準備・報告書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>★犬飼アドバイザー</li> <li>・チーフ・コーディネーターとの意見交換</li> <li>・日本語クラブ見学と事業終了後の助言・まとめ</li> </ul>
2018年 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ フォローアップ研修での情報提供, 新しく開催する教室の準備⇒2カ所の会場で実施</li> <li>○ 中学校に編入したフィリピンの生徒が参加⇒今後の支援について検討</li> <li>○ 広島市副市長との日本語教室の意見交換, 市職員との参加者ニーズについて意見交換(チーフ・コーディネーター)</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(日本語クラブの企画・運営), コーディネーターとの連絡調整, 広報活動(情報発信), 日本語クラブ資料作成・報告書作成	
2018年 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主会場の都合により, 会場を移動して1個所で実施</li> <li>○ 地元高校に編入したフィリピンの生徒が参加⇒今後の支援について検討</li> <li>○ 広島市へ日本語教室関係で聴き取り訪問, 市職員との体制整備について意見交換(チーフ・コーディネーター)</li> <li>○ 文化庁日本語教育京都大会参加(チーフ・コーディネーター)</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(日本語クラブの企画・運営, 教材研究), コーディネーターとの連絡調整, 広報活動(情報発信), コーディネーター会議資料作成・日本語クラブ報告書作成	
2018年 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営スタッフの都合で, 1カ所開催に戻す。</li> <li>○ 12月～1月のクラブ運営について検討</li> <li>○ 京都市の日本語教室見学(チーフ・コーディネーター)</li> <li>○ 犬飼アドバイザーを訪問(チーフ・コーディネーター)</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(日本語クラブの企画・運営), アドバイザー・コーディネーターとの連絡調整, 広報活動(情報発信), コーディネーター会議資料作成・日本語クラブ報告書作成	
2018年 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本語クラブで毛筆による年賀状に挑戦</li> <li>○ 江田島市国際交流協会設立総会～伊東アドバイザーによる日本語教室啓発講演会～食文化交流会～日本語クラブ開催</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(日本語クラブの企画・運営), アドバイザー・コーディネーター会議, 広報活動(情報発信), 日本語クラブ資料作成・報告書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>★伊東・犬飼アドバイザー</li> <li>・新しく日本語教室を開催する予定地の視察と運営の助言</li> <li>・アドバイザー・コーディネーター会議</li> <li>・市民向け日本語教室啓発講演会</li> <li>・食文化交流会参加外国人市民との意見聴取・意見交換</li> </ul>
2019年 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新規開催場所施設職員との調整</li> <li>○ 2カ所での日本語クラブを再開(宮ノ原隣保館は新規に開設)</li> <li>○ 日本語クラブの後, 衣類のリサイクルを実施⇒通常より参加者増加, クラブの周知に効果あり</li> <li>○ 消防職員の見学</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(日本語クラブの企画・運営), コーディネーターとの連絡調整, 広報活動(情報発信), 日本語クラブ資料整理・報告書作成, 実地調査資料作成	
2019年 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本語クラブ開催, 節分の豆まきを体験～文化庁の実地調査</li> <li>○ 消防職員の協力⇒火災や救急関係の話は, 参加者に好評</li> </ul>	教室運営, コーディネーター会議(日本語クラブの企画・運営), コーディネーターとの連絡調整, 広報活動(情報発信), 日本語クラブ資料整理・報告書作成, 実地調査資料作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>★犬飼アドバイザー</li> <li>○文化庁実地調査同行</li> <li>・宮ノ原, 能美市民センターの日本語クラブ見学</li> <li>・コーディネーター会議の助言・まとめ</li> </ul>
2019年 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本語クラブ開催, ひなまつりの紹介</li> <li>○ 日本語クラブ修了式</li> </ul>	3年間の事業成果のまとめと今後の教室の具体的展開・事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>★伊東・結城・犬飼アドバイザー</li> </ul>

## (2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称		江田島市日本語クラブ					
外国人参加者について		[国籍] フィリピン115名, ベトナム51名, 中国35名, インドネシア19名, バングラディシュ11名, アメリカ2名 [属性] フィリピン参加者は、永住者・定住者が多い。ベトナム・中国は技能実習生。インドネシアは特定技能(来日の経験あり)		参加者数 (内 外国人数)	受講者223 名 支援者199 名 (日本語指導者79名, サポーター36名, 市職員64名)		
開催時間数		総時間 54時間		内訳 2時間 × 21回 + 2時間 × 6回 (2か所開催による追加)			
目標		“いつでも誰でも参加できる”を理念とし、外国人市民の孤立感や不安を解消する居場所として、日本語を「教える」「学ぶ」を通して、日本人市民と外国人市民の相互交流と、外国人市民が日本語や文化など、様々な「学び」を創出できる場として実施している					
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2018年4月15日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	26	・30年度のス ター ・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者4名, サポーター5名, 市職員3名
2	2018年5月6日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	8	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者4名, サポーター2名, 市職員3名
3	2018年5月20日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	11	・通常学習 ・危機管理講座	・危機管理課職員による, 地震・大雨・台風の災害や避難場所について学習。	指導者4名, サポーター1名, 市職員3名
4	2018年6月3日(日) 13:30~15:30	2	市役所本庁	6	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者4名, サポーター2名, 市職員2名
5	2018年6月17日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	7	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者4名, サポーター2名, 市職員3名
6	2018年7月1日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	3	・通常学習 ・七夕(短冊づくり)	・短冊に日本語で, 願い事を書いて笹に結んだ。	指導者4名, サポーター1名, 市職員2名
7	2018年8月6日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	1	・参加者が講師	ベトナム人参加者1名だったので, ベトナムの地理・文化や日本での生活・困りごとを質問形式で学んだ。	指導者3名, 市職員3名
8	2018年8月19日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	2	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者3名, サポーター1名, 市職員3名
9	2018年9月2日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	3	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者3名, サポーター3名, 市職員3名
10	2018年9月16日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	2	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者1, 市職員2 指3, サポ1, 職員2
		2	能美市民センター	6			
11	2018年10月7日(日) 13:30~15:30	2	能美市民センター	4	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者4名, 市職員4名
12	2018年10月21日(日) 13:30~15:30	2	三高会館	9	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者4名, 市職員3名
13	2018年11月4日(日) 13:30~15:30	2	能美市民センター	12	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者4名, 市職員4名
14	2018年11月18日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	2	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指導者3名, サポーター2名
15	2018年12月2日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	5	・通常学習 ・年賀状づくり(毛筆)	・年賀状を日本語で, 毛筆や筆ペンを使って挑戦。書いた年賀状は, 市内の図書館が募集しているコンクールに応募。	指導者4名, 市職員4名
16	2018年12月16日(日) 13:30~15:30	2	能美市民センター	11	・食文化交流会後の通常学習 ・年賀状づくり(毛筆)	前回に続いて実施。	指導者4名, 市職員3名
17	2019年1月20日(日) 13:30~15:30	2	ゆめタウン	40	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指2, サポ1, 職3 指1, サポ1, 職3
		2	宮ノ原隣保館	14			
18	2019年2月3日(日) 13:30~15:30	2	能美市民センター	13	・通常学習 ・節分(豆まき)	・節分行事の豆まきを体験。大きな声で「福は内, 鬼は外」	指3, サポ1, 職5 指1, サポ1, 職3
		2	宮ノ原隣保館	10			

19	2019年2月17日(日) 13:30~15:30	2	能美市民センター	10	・通常学習	・コーディネーター挨拶, 日程説明, 個別に学習内容を決めて実施, ティータイムで懇談, 参加者自己紹介, 学習内容の発表	指3, 職5
		2	宮ノ原隣保館	2			指1, サボ1, 職3
20	2019年3月3日(日) 13:30~15:30	2	能美市民センター	9	・通常学習 ・ひな祭りの紹介	・写真でひな飾りを紹介。みんなでひな祭りの歌を歌う。 ・仕事に即した言葉や用具の名前を憶えてほしい⇒事業者も参加しサポート(宮ノ原会場)	指3, サボ2, 職5
		2	宮ノ原隣保館	6			指1, サボ3, 職3
21	2019年3月17日(日) 13:30~15:30	2	能美市民センター	7	・通常学習	・消防の救急出前講座...救急隊員の説明, 救急車の呼び方を体験(能美会場)	指3, サボ4, 職4
		2	宮ノ原隣保館	10			指1, サボ2, 職3

【主な活動】



12/16 年賀状づくり(能美市民センター)



1/20 宮ノ原隣保館での教室開始



3/3 通常学習(能美市民センター)

(3) その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
江田島市国際交流協会の設立	12/16/2018	<ul style="list-style-type: none"> <li>○趣旨...多様な交流の場を創出し, 外国人市民と日本人市民が共に生きていく多文化共生社会の実現を目指していくため</li> <li>○伊東アドバイザーによる, 市民向け日本語教室啓発講演会 演題「みんなが一緒に江田島で楽しく暮らしていくためには？」</li> <li>○食文化交流会...外国人市民と一緒に, ベトナム・中国・フィリピン・バンラディシュの料理を作り, 食しながら交流した。</li> </ul>

【主な活動】



設立総会参加者集合写真



伊東アドバイザーによる講演



食文化交流会

## 5. 今年度事業全体について

進捗状況	7月の豪雨災害により、中止となったプログラムもあったが、概ね計画どおり進行した。
成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会場の都合で開催場所を変更したことにより、日本語クラブ開催場所の課題に対して、外国人市民の声(本音)を聞くことができた。...その会場に近隣のため、新たに参加できた人もいた。</li> <li>2 施設職員の協力と地域の要望により、1月から2か所で開催できるようになった。</li> <li>3 来日し中学校や高校に編入した外国人生徒の日本語の学習に対して、日本語クラブスタッフが積極的に支援した。</li> </ol>
地域の関係者との連携による効果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際交流協会の設立をきっかけとして、日本語教室を行っていることの周知が広まり、見学者や協力者が増加した。</li> <li>2 子供や孫が使わなくなった「ひらがな」「カタカナ」などの教材の提供も増え、学習者が有効に活用している。</li> </ol>
コーディネーターの主な活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ニーズの調査(9H)</li> <li>②体制整備のための調整(134H)</li> <li>③人材育成のための調整(53H)</li> <li>④日本語教室開設及び運営のための調整(24H)</li> <li>⑤教材作成に向けた調整(102H)</li> <li>⑥その他(87H)</li> </ol> <p>(具体的な内容：教室運営 )</p>
アドバイザーの主な助言	「日本語教室が『居場所、交流、学び』の場となるよう、『誰でも、いつでも、気軽に参加』できる教室を目指してください。また、常に、外国人市民に寄り添う『伴走者』の気持ちを忘れず、『共感できる当事者』として、日本語教室に携わって行ってください」
今後の課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スタッフ(コーディネーター、ボランティア)の確保 日本語ボランティア養成講座受講生を中心に、開催当初はかなりのボランティアの参加があったが、徐々に人数が減少し、継続してボランティア参加につながらなかった。 日本語ボランティア養成講座を開催し、新たなボランティアの確保が必要である。</li> <li>2 行政各部署や関係団体との連携 防災関係の出前講座や消防部局からの消防・救急の説明に、外国人参加者も興味を持ち、かなりの効果があった。 今後も、日本語学習に限らず、様々な生活情報提供を目的として、連携や協力体制の構築に努める必要がある。</li> <li>3 周知・PRについて 会社や管理組合を通じて実施したが、技能実習生を雇用している全ての会社の把握はできておらず、全ての会社等への周知はできなかった。</li> <li>4 参加者のニーズに対応した会場の選定 運営面では、市内中心部のショッピングセンター1か所に決めて実施したが、外国人が暮らす地域とは距離があり、交通アクセスや移動手段により参加できない者も多くいた。</li> </ol>
今後の予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 江田島市国際交流協会を中心とした日本語教室(クラブ)の開催 運営のための財源確保。日本人市民の周知、理解、協力の拡大。外国人市民への情報提供の工夫・拡大</li> <li>2 日本語の学習に限らず、外国人市民が自由に気楽に集まることのできる場の提供 より多くの外国人市民のニーズに対応できるよう、開催場所・開催日時などの検討を随時行う。</li> <li>3 更なる多文化共生社会への理解と異文化適応能力の向上を目指して より多くの日本人参加者に「教える」側「教わる」側という考え方ではなく、日本語の指導を通して、外国の異なる文化、習慣、価値観など、多くの気付きと学びを発見(認識)してもらおう機会とする。</li> </ol>

本件担当 : 江田島市役所市民生活部人権推進課